



国際ロータリー 第2780地区 第9グループ
湯河原ロータリークラブ 週報



イマジン
ロータリー

2023年5月19日(金) 第2920回例会 形式:対面 天候:雨
合唱:君が代、奉仕の理想、四つのテスト

会長 青木 義美 幹事 室伏 学

事務所:神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会

TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716 例会場:ニューウェルシティ湯河原 例会日:毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

青木 義美

今日は例会欠席で申し訳ありません。伊藤副会長に挨拶文を依頼させて頂きました。

まずは石田会員、家族旅行段取りご苦労様でした。素晴らしい天候とコ

ロナ5類以降でせいせいとお酒ほか大騒ぎさせて頂きました。ありがとうございました。私は小学校遠足以来の久能山東照宮見学でしたが、当時はあの1000数段の石段を登ったんでしょうね。

又過日17日の会長幹事会には室伏幹事ともに欠席で安江会員に出席を依頼させて頂きました。こちらも有難うございました。

さて今日は家内と久々の台湾4日間旅行です。又日本平同様、介護もどきの手をつないで行ってます。台北は私の母が生まれた地でもあるので、ある意味感無量です。現地では5年くらい前にホームステイした台湾夫婦が案内をしてくれる事になってます。中国からロケットが飛んでこない事を祈りつつの旅となりますが、来週皆様に無事に例会でお会い出来るの楽しみにしております。

幹事報告

ガバナーより

1.次年度地区便覧(クラブ)校正のお願い
地区便覧(クラブ)第9グループをお送りいたします。5月31日(水)迄に校正をよろしく願います。

連絡事項

なし

スマイルボックス

会員誕生日 常盤孝司君(5/9)
結婚記念日 常盤孝司君(5/7)

結婚記念日 平間章弘君(5/8)
ご夫人誕生日 渡辺久恭君(雅子様・5/6)
ご夫人誕生日 室伏 学君(ゆかり様・5/6)
入会記念日 深澤昌光君(12年・H23.5.13)
入会記念日 石川 博君(12年・H23.5.13)

石田浩二君

昨日、当ウェルシティにおいて株式会社フォレスト令和5年度事業報告会を開催いたしました。ロータリーメンバーも多数参加いただき有難うございました。

常盤孝司君

4月に発売から1年半待ちでホンダダックス125が納車されました。ゴールデンウィークには長女、長男をお供に箱根・富士五湖・甲斐・富士川を1泊でツーリングして来ました。帰りは雨に降られましたが、事故もなく楽しいツーリングでした。

常盤孝司君

親睦旅行に参加できず申し訳ありませんでした。薬剤師不足で平日に休むことが難しくなりましたが、しばらく本業に力を入れたいと思います。

葉維英君

楽しい日帰り旅行でした。ご企画、実行して頂いた方々に感謝申し上げます。

伊藤伸之君・平間章弘君・櫻井武志君

先週の家族親睦旅行を欠席しました。

出席報告

ゲスト 0名 ビジター 0名
会員 23名 欠席5名(免除者3名)
出席率 90.00%
前回の修正出席率 78.95%
前々回の修正出席率 85.71%
事前メイクアップ 4名

皆様こんにちは。本日は、土肥会93年の歴史についてお話をさせていただきます。

1. 土肥会創立前夜(関東大震災から箱根振興会)

大正12年9月1日の関東大震災によって、熱海・湯河原・真鶴・小田原・箱根地域は大きなダメージを受けました。一般家屋だけでなく旅館やホテルの破壊も著しく、国鉄熱海線が開業目前の熱海駅や湯河原駅も大きな被害を受け、軽便鉄道も全壊しました。湯河原駅は翌大正13年10月には復旧し、大正14年には国鉄熱海線小田原～熱海間が全通、昭和2年には小田原急行鉄道が新宿～小田原間を全通させたことにより、東京や関西から熱海・湯河原・箱根へのアクセスが容易となりました。

関東大震災での被害が大きかった箱根の温泉地もすぐに「箱根復興会」を組織し、箱根全山の国道を復旧とバス運行の開始を押し進めると、復興会は翌年には「箱根振興会」と改名し、(1)箱根の積極的な宣伝 (2)博覧会などの開催 (3)箱根の保勝(保護) (4)国立公園設定運動 の四つの目標を定め、①内外客誘致に関する連絡及び諸施設の研究 ②風景地の保護開発並びに遊覧系統に関する調査研究 ③地質、地文、気象、動植物等に関する調査研究 ④歴史、人文、旧跡、名所等に関する研究並びに保存 ⑤温泉に関する研究 ⑥目的を同じくする他の団体との連絡(後略) といった事業を始めていきました。上記の中の④と⑥が、土肥会の発足に関係していきます。

ようやく大震災からの復興の目処が付き始めた昭和4年、日本学生競技連盟会長の山本忠興が、来日したIOC 会長と日本でのオリンピック開催可否について話し合ったというニュースが報じられ、国民のオリンピック熱が急激に高まりました。この流れを受け箱根振興会でも、オリンピックにやって来る多くの選手、応援客、観光客を受け入れようとの機運が高まっていきました。元々「国立公園協会」の神奈川県箱根支部を兼ねていた箱根振興会は当時、富士山・芦ノ湖・箱根・伊豆をまとめた「大箱根国立公園」を設定するとの目標を持っており、オリンピック招致の話はその目標も盛り上がることになりました。実際、同年の「国立公園協議会」には、箱根から箱根振興会の石村喜作理事をはじめ神奈川県の課長など4名が出席し、事業の推進を観光地・神奈川県の官民共同で薦めていたことが注目されます。実際、昭和5年1月には、協会支部の会長に山県治郎神奈川知事が就任する発起人会が開催されました。その発起人会には箱根振興会の石村幸作理事をはじめ

め、振興会会長であった箱根村長、石村喜作仙石原村村長、さらに宮城野村長、湯本村長、箱根温泉協会、富士屋自動車、箱根登山鉄道会社、箱根遊船会社の代表などがこぞって出席し、松本真鶴村長、高杉忠次郎湯河原温泉旅館組合も出席していました。この二人こそ、後に土肥会創立に大きな貢献を果たすことになる人物で、創立時の写真にもその姿をみることが出来ます。

2. 土肥会創立から現在まで

昭和5年3月21日、石橋山合戦(1180年)より750年の節目として、源頼朝・土肥實平公旗挙げ750年祭実施のため、発起人7名が集まり、当時の湯河原町在住の有史の方への呼びかけが始まりました。結果、短期間で453名(うち湯河原町民400名、当時の湯河原町の人口は5071名)もの会員を集め、4月3日、源頼朝・土肥實平郷土顕彰の会(後の「土肥会」)が発足しました。

同年5月13日、「大箱根国立公園総会」発足会が箱根湯本小学校校庭にて千数百名を集めて開催されました。同じ頃、アジア初となる東京オリンピックが昭和15年9月に開催されることが決まり、オリンピックにおいて「大和魂」「サムライ精神」で金メダルを沢山とろうという機運が高まっていました。箱根の決起集会に参加した湯河原や真鶴の指導者や温泉観光の推進者もこの流れに触発され、外国人に知られている東国武家の源頼朝が鎌倉に幕府を開いたという事実や、温泉と郷土の歴史や史跡を明確にしようとし、頼朝、土肥實平顕彰を進めようと考えようになりました。この流れに、時の文部省や県の教育者にも「精神鍛錬のため」との意味合いで同調し、以来、郷土の英雄・土肥實平を売り出す流れが生まれました。

以来現在までの93年、土肥城趾碑の建設、成願寺ビュクシンの国記念物指定、しとどの窟と土肥一族墓所の史跡指定、土肥祭・武者行列の開始、焼亡の舞保存会発足、七騎堂建設、土肥實平夫婦像建設、土肥大杉・自鑑水案内石碑設置などの事業がなされてきました。このことは、湯河原町内外の多くの団体や関係者の皆様のご協力によるものと感謝しております。土肥会役員一同、今後とも土肥一族研究と史跡の保存、郷土の歴史の継承、観光来訪者の拡大のため、今後とも一層の努力をしていきます。皆様には引き続きお知恵をいただきながら、ご協力、ご支援を賜りますようお願いいたします。

以上です。ご清聴ありがとうございました。

(文・編集: 荻谷和彦(5月会報担当) / クラブ会報委員会)